

輸出事業計画

※申請者名：山形おきたま農業協同組合、品目：ぶどう

1. 輸出における現状と課題

＜輸出の現状＞

現在、置賜地区のぶどう生産についてはシャインマスカットを中心に大粒ぶどうの優良品種の導入を行い、新たな販路確保として海外への輸出を開始した。山形県の補助金を活用し、海外でのビジネス展開を支援する関係機関との連携によりプロモーション販売や食品貿易会社との取引を展開している。

＜輸出の課題＞

今後の輸出拡大については、コロナ禍における消費動向の変化に対応すべく、中間所得者層まで対象を広げた商品開発・安定供給・マーケティングを構築し需要拡大が必要と考えている。また新規就農者を確保するため栽培技術の確立による生産量の安定化や、国内外の他産地との競合を見据えた新たな品種の導入検討が必要である。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産】

- ・省力栽培の実施 摘粒の省力化栽培マニュアルの検討と試験
- ・団地流動化対策 生産組織への打診と協議
- ・貯蔵性の高い品種検討 新品種の導入にあたり、苗木の調達等、種苗メーカーとの打合せ

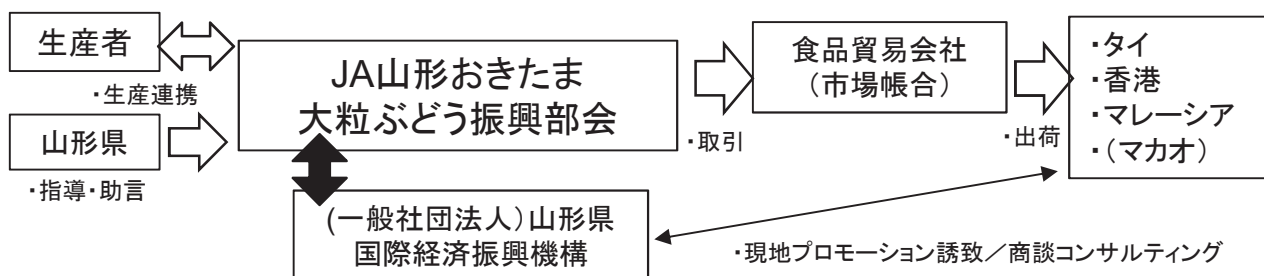
【商品開発】

- ・商品検討 他産地と競合しない規格・資材の検討、貯蔵試験
- ・長期販売の検討 JA設置の高鮮度貯蔵施設活用による長期販売、試験出荷

【流通】

- ・現地調査 予定輸出先国への現地調査
- ・今後の商流展開 市場帳合から、計画的な出荷が可能な直接取引への移行を検討

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

ぶどう (シャインマスカット、 マイハート、ウインク他)	現状 (令和2年度)	目標年 (令和8年度)
輸出額	4,924千円	20,000千円
輸血量	2.1 t	20.2 t
輸出先国	香港、マレーシア	タイ、香港、マレーシア、(マカオ)